

## 伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

## 1. 伊方発電所 2号機 所内変圧器火災感知器の不具合について

## 事 象

8月22日8時01分、定期検査中の伊方発電所2号機において、所内変圧器の火災発生を示す信号が発信し、水噴霧消火装置が作動したことから直ちに現地確認を行い、火災のないことを確認しました。

調査の結果、所内変圧器周辺に設置している火災感知器（熱感知器）のうち、1個に不具合があることを確認しました。

このため、当該感知器を予備品に取替えて動作確認を行い、同日18時26分に通常状態へ復旧しました。

## 原 因

調査の結果、当該感知器は全体的に腐食が見られ、一部に貫通穴を確認しました。また、感知器内部の部品が腐食により剥離し、感知器が動作状態となっていることを確認しました。

このことから、海からの塩分が感知器に付着し、腐食が発生・進行して貫通に至り、貫通穴より感知器内部に塩分を含んだ湿分が侵入した結果、感知器内部の部品が腐食・剥離したことにより、感知器の誤動作に至ったものと推定しました。

## 対 策

- ・当該感知器を新品に取り替え、正常に動作することを確認しました。
- ・当該感知器と同型の変圧器消火装置用火災感知器については、順次、取替えを実施します。また、設置から約10年間は不具合が発生していないことから、今後、8年を目安に定期的に取り替えを行います。
- ・引き続き、年1回の火災感知器の水洗を実施するとともに、万一の不具合時には速やかに取替えができるよう継続して予備品を常備します。

伊方発電所 2号機 消火用水系統概略系統図

